

平成 26 年度岩手県支部総会開催報告

去る 11 月 15 日、麻布大学同窓会岩手県支部総会並びに研修会が盛岡市つなぎ温泉の「旅染屋 山いち」にて開催され、盛会に終了いたしましたことご報告いたします。

大学からは、新会員の学生時代の恩師である木内明男先生にご出席いただき、新しい時代に向けた麻布大学の人材育成ビジョンや新たな入試選抜制度について詳細にお話を頂戴しました。

獣医師の果たす役割や将来への人材育成の方向性など、これからの新しい時代を作っていく後輩たちへの希望を感じるものでした。また、地方における獣医師の慢性的な人材不足に対応すべく、大学においても問題意識を持って取り組んでいることに期待をしてお話を伺った次第です。

研修会は、本県支部会員の鈴木恒雄先生による「ドイツにおける酪農事情」、名誉顧問であり NPO 環境パートナーシップいわての代表の野澤日出夫先生による「ドイツにおけるエネルギーシフトの現状」としてご講演いただきました。

鈴木先生からは、酪農経営に対する制度や気候風土の違いによる酪農経営の在り方などドイツでの研修に参加された報告を頂戴しました。野澤先生からは、風力やバイオガス発電による地域内での電力供給、大規模事業者参入による木質バイオマス原料高騰での電力供給体制の低下など、環境先進国ドイツの現状を豊富な写真を交えてご講演いただきました。期せずして畜産と環境政策などから多面的にドイツの現状についての研修となりました。

鈴木先生、野澤先生のご配慮で、翌日も早朝から、小岩井農場に整備された最先端のミルクキングパーラーシステムによる搾乳作業を見学する機会もあり、大変興味深く内容の濃い研修となりました。

年々参加者も少なく高齢化が進む中、今年度は新卒会員の参加もあり大いに盛り上がり総会を終了したことをご報告します。今後も、会員の高齢化、減少傾向など厳しい現状にありますが、毎年の総会や研修会など支部活動に取り組んでまいります。

(事務局：北川 睦 V昭和 62 年卒)

